

良いとこ自慢・・・自分の園所が自信をもって誇りに思えるような取組

ここを改善・・・主にこれまでの特定教育・保育施設評価の中で課題・改善点として挙げた内容の取組

<p>教育・保育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康で明るい子ども（からだ） ・よく見よく聞きよく頑張る子ども（あたま） 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の豊かなのびのびとした子ども（こころ） ・自分の思うことが言え仲良く遊べる子ども（なかま）
---	--

【目標達成計画】

項目	園の現状や取組、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	成果	評価	
共通課題	<ul style="list-style-type: none"> ・お散歩等園外での保育活動における安全対策について 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩コースの安全な場所、危険な場所を把握する。 ・交通ルールを守り、散歩の中で実際に学び、命の大切さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室を通して交通ルールや道路の渡り方を知る。 ・散歩に出かけた時に実践を通して学べる機会を持つ。 ・紙芝居や絵本を通して、子どもたちが交通ルールや安全について考える時間をもつ。 ・実践から学んだことや子どもたちと考えたことを取り入れ、お散歩マップを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マップがある事で、職員と一緒に子どもたちが自ら気をつけながら、危険な場所が分かったうえで散歩に出られるようになった。 ・散歩時に年長児が車道側を歩いてくれたり危険な場所で声をかけるなど、子ども同士の伝え合いが見られた。 ・交通安全教室に参加し学ぶことにより、横断歩道が無い道でも左右を確認し、手を挙げて渡ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室では、園庭に模擬横断歩道を作り、実際に子どもたちが見たり体験することにより、交通ルールを確認する機会となった。お散歩の際は、年長児が車道側を歩き、年少児が安全に歩けるよう配慮する等、成長がみられる。 ・「お散歩・安全マップ」を作成し、危険箇所(蜂・蛇・植木鉢破片等)を追記している。過去の園外保育での経験・気づき・アイデアを職員で出し合い、園外保育マニュアルの作成につなげ、全職員で共通理解し活用されることを期待します。 	
良いとこ自慢！	保育内容面	<ul style="list-style-type: none"> ・天候に関係なく、園庭でのびのびと遊ぶことができる。 ・竹を使ったそうめん流しができる。 ・朝の体操、マラソンで体力づくりをしている。 ・花植えや夕涼み会、運動会、また地域行事に参加し地域交流をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外で存分に体を動かしながら、友だちと一緒に好きな遊びを楽しんだり、少し難しい事にもチャレンジしたりする。 ・身近な自然に触れ四季を感じたり、季節ごとの行事に触れる機会を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で、子どもたちが頑張ったことを見える化する。 ・成功したことだけでなく、挑戦したことに対して肯定的に評価する。 ・共にチャレンジする仲間づくり（相談や一緒に挑戦できる環境づくり）をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの友だちと一緒に頑張り表を作ったり、友だちが頑張っている姿を認めていくことにより、自分もやろうという意欲が高まってきた。 ・友だちの良い姿について話し合う機会を設けたことにより、子どもたち自身にやる気が生まれた。今後もそういった機会を増やしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢では、運動遊びを中心に合同で活動する機会があり、身体を動かしながら、共に生活することで人間関係の幅を広げようとしている。また、地域とのかかわりを大切にしており、さまざまな人と接する中で、社会性を培うような努力がなされている。子どもたちが地域の中で育つことの重要性をしっかりと受け止めて保育がなされている。
	管理運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に伝える事を一冊のノートにまとめ、職員全体で状況を把握できるようにし、丁寧で的確な対応を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連絡を密にして情報共有を行い、保護者に子どもの様子をしっかりと伝えることで信頼関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体連絡ノート・クラスノートについて、誰が記入して、誰が見たのか、誰が保護者に伝えたのか分かるようにする。 ・効率的な書式に変更する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に尋ねる必要がある内容は赤字で書くことにより、目で見ても分かりやすくなった。 ・他のクラスの連絡事項が分かりやすくなり、職員間の連携が取りやすくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「全クラス連絡ノート」の活用方法を見直すことで、全クラスの情報や引き継ぎ事項が1ページで見られるよう改善している。共通欄を設け、伝言メモを転記し、保護者からの情報等も共通理解できるよう工夫している。使いやすさを検討し、「クラスノート」を全クラス統一の書式にした。今後も、より使いやすい書式へと、適宜に見直しを予定している。
ここを改善！	保育内容面	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境が年間を通して同じで、変化がない。 ・子どもの発達や遊びの発展に合わせて環境を変えていく必要がある。 ・自然に囲まれた園ではあるが、自然を取り入れた実践が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達とそれに添った保育内容の実践ができていないかを見直し、必要な物を手作りしたり、発達に合った環境作りをする。 ・散歩に出かけたり、小動物を捕まえて飼育したり、自然物を取り入れた製作やクッキングをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作ったこと、工夫したことを見える化する。 ・年間を通して、子どもたちの成長を見える化できるように環境構成の工夫を行う。 ・ねらいを踏まえ、子どもの発達に添った保育内容を実践し、振り返りを必ず行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりと様々な形の容器を用意し、個人や友だちと一緒に工夫した遊びに取り組めるように環境を整えたことにより、友だちとイメージを共有したり楽しさを共有しながら様々な遊びを工夫する姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がもつ課題や育ちのありように関して、それぞれの保育者が深く理解しようとしている。子どもたちの安心安定を第一に考え、寄り添っていこうとする姿勢が見られる。活動としては体力づくりを中心に、身体を動かすことで心身の健康を目指している。雨天でも遊べる園庭や、自然豊かな周辺地域を活用しながら、子どもたちの健全な育ちをめざしている。 ・一人一人に寄り添って、子どもたちが自信を持って生活できるように、保育者が努力している。地域に根差す保育をめざすことで、豊かな人権感覚を養おうとされている。
	管理運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で集まれる事がなく、クラス単位では把握できているが、全体での把握ができていない。 ・保育者の事務書類が多い。 ・施設外への避難や園外保育時の避難マニュアルが把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の進め方を見直し、短時間で頻度を増やして行えるようにする。 ・日頃から避難方法、経路、持ち出し品について十分に確認し、共通理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な書式に変更する。 ・まとめたり、一覧を付けたりしてファイリングを工夫する。 ・ヒヤリハットの書式を簡素化し、記入しやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの書式が簡素化され記入しやすくなった。 ・取り組んだものについては一定の成果がみられたので、今後も内容の重複するものや記入に時間のかかるものに対して書式の見直しや変更、簡素化を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「職員会議録」の書式を見直し、議題に沿ってわかりやすく記載するように変更している。会議で報告・共有した研修資料やマニュアルについて、照会がしやすい記載方法に変更され、ファイルの整理ができると共に、会議を欠席した職員にも周知・共有しやすいよう工夫している。 ・ヒヤリハットメモ・軽微事故報告書の書式を変更し、提出と共有がしやすいよう工夫している。今後は、メモを集計・データ化し、事故予防に活用されることを期待します。